首長・議員懇談会
私たちの声を首長や議員さんに届けました
2020年度 みやぎ生協・コープふくしま

COOP
みやぎ生協・コープふくしま

2020年度 首長・議員懇談会報告

みやぎ生協は、宮城県内の首長・県議会議員・仙台市議会議員と地域のメンバー（組合員）とで年に１回懇談会を開催しています。コープふくしまでは、今年度から福島県の首長との懇談が始まりました。コロナ禍の影響で、首長懇談の中止や参加メンバー（組合員）数が減少しました。

宮城県での懇談テーマ（福島県はテーマ設定なし）

「誰もが安心してくらせる地域づくり」をテーマの中心において、一緒にくらしやすいまちづくりをみんなで考えます。みやぎ生協・コープふくしまの活動を伝え、地域で共に取り組めること、くらしの向上のために連携できることを話し合います。

1. 東日本大震災や台風19号など大規模な自然災害からの復興の進捗状況や課題を伺い、住民やみやぎ生協と協働で取り組めることについて話し合います。
2. 新型コロナウイルス感染症により生活保護申請の増加や解雇・雇止めによる失業者が増えるなど、くらしは大きく影響を受けています。新たな相談窓口の設置などの取り組みや課題について伺います。また、宮城県「新型コロナウイルス感染症に対応した避難所運営ガイドライン」にそった避難所増設や必要人員の確保などの対策について伺い、住民やみやぎ生協と協働で取り組めることについて話し合います。
3. 「誰もが安心してくらせる地域づくり」のために、自分の住むまちの良いところや地域で多くの人が困っている現状や、解決して欲しい要望を伝え、自治体と一緒に力を合わせて取り組むことなどを話し合います。

懇談一覧

	開催数（昨年）	開催地域（開催順）	参加者数（人）	
			生協メンバー（組合員）（昨年）	首長・議員数（昨年）
首長懇談	26(28) 宮城 22 福島 4	(宮城県)東松島市、気仙沼市、涌谷町、山元町、栗原市、亘理町、富谷市、岩沼市、松島町、名取市、色麻町、加美町、大郷町、丸森町、柴田町、角田市、七ヶ宿町、南三陸町、女川町、七ヶ浜町、白石市、多賀城市 (福島県)伊達市、桑折町、白河市、二本松市	115(235)	26(28)
宮城県議懇談	8(8)	仙台市青葉区、泉区、大崎、加美、遠田、仙台市太白区、宮城野区、若林区	89（228）	13(18)
仙台市議懇談	5(4)	青葉区、泉区、太白区、宮城野区、若林区	104(197)	25(19)
懇談中止による文書回答	6	(宮城県)大崎市、利府町、大衡村、石巻市、大和町、大河原町		
計	45(41)		308（747）	64(70)

〈首長懇談会〉

新型コロナウイルス感染症拡大により、予定していた懇談が中止となり、文書で回答いただいた懇談もありました。

[主な懇談内容]（開催月日順）

〈宮城県〉

東松島市 渥美巖市長　10月23日　みやぎ生協東松島ハーモニー
みやぎ生協 大越健治専務理事、佐藤ひで子理事、メンバー3人

2020年3月25日に地域包括連携協定を締結しました。東日本大震災の復興事業は2020年度内にすべて完了する見込みです。新型コロナウイルス感染症による生活困窮などの相談は社会福祉協議会で受け付けています。避難所運営マニュアルを作成、地域避難所が不足の場合は市内のビジネスホテル等を活用します。

亘理町 山田周伸町長　11月17日　亘理町役場
みやぎ生協 大越健治専務理事、佐々木英美理事、メンバー7人

東日本大震災の復興事業はすべて完了する予定です。心のケアやスクールソーシャルワーカー活用などのソフト事業も完了する見込みです。新型コロナウイルス感染症の対応窓口は設置していませんが、各分野で連携しています。避難所運営についてはゾーニング作業や衛生資機材配備を終え設置訓練も行っています。

気仙沼市 菅原茂市長　11月2日　気仙沼市役所
みやぎ生協 大越健治専務理事、小野幸恵理事、メンバー4人

東日本大震災の復興事業は2020年度完了を目標としてきましたが、一部次年度にずれ込む予定です。台風19号による被害が甚大で現在も復旧事業を行っています。新型コロナウイルス感染症による離職や収入減少の相談が増加しています。避難所は12カ所から25カ所に増やしました。

富谷市 若生裕俊市長　11月18日　みやぎ生協明石台店
みやぎ生協 大越健治専務理事、信山澄重理事、メンバー7人

大規模災害の課題のひとつである食糧備蓄は、みやぎ生協と包括連携協定を締結したことで解決しました。新型コロナウイルス感染症対策は特別給付金や市独自の支援も含め対応しています。避難所運営は2カ所の車中避難所も含め現在の避難所で十分受け入れ可能です。

涌谷町 遠藤釈雄町長　11月10日　涌谷町役場
みやぎ生協 小澤義春常務理事、及川しのぶ理事、メンバー4人

「災害時における応急生活物資の供給協力に関する協定」を締結します。新型コロナウイルス感染症による雇止めなどにより子育て世帯、特にひとり親世帯に影響がみられます。臨時特別給付金の支給や保育所利用のなかった世帯には保育料を還付するなど支援しています。

岩沼市 菊地啓夫市長　11月18日　岩沼市役所
みやぎ生協 小澤義春常務理事、佐々木英美理事、メンバー8人

台風19号では4800tの稲わらが流出し浸水被害につながりましたが、早めの対応を呼びかけています。4月に新型コロナウイルス感染症対策室を立ち上げました。避難所運営は現在の避難所で受け入れ可能です。車中避難も十分受け入れ可能です。

山元町 菅野寛俊副町長　11月10日　山元町役場
みやぎ生協 大越健治専務理事、佐々木英美理事、メンバー9人

東日本大震災の復興事業はほぼ完了しました。12年ぶりにハザードマップを作成しました。新型コロナウイルス感染症に関する新たな相談窓口は設けていませんが、影響の大きい奨学生への緊急支援金や子育て世帯への臨時給付金の支給など支援をしています。

松島町 櫻井公一町長　11月24日　松島町役場
みやぎ生協 大越健治専務理事、渡邊弘美理事、メンバー2人

東日本大震災の復興事業は年度内に完了予定です。大雨等による水害対策は排水機能に支障が出ないよう維持管理を行っています。新型コロナウイルス感染症に関する新たな相談窓口は設置しませんが、県などの専門相談窓口を紹介しています。新たに避難所運営ガイドラインを作成し地域で説明や訓練を行っています。

栗原市 千葉健司市長　11月13日　栗原市役所
みやぎ生協 小澤義春常務理事、小野幸恵理事、メンバー5人

2020年12月24日に地域包括連携協定を締結しました。大規模災害時の対応や子育て支援、生活困窮に関することなどを連携します。新型コロナウイルス感染症による生活困窮に関する相談は生活困窮者自立支援窓口で受け付けています。避難所運営については間仕切りを準備する予定です。

名取市 山田司郎市長　11月26日　名取市役所
みやぎ生協 大越健治専務理事、佐々木英美理事、メンバー10人

「災害時における応急生活物資の供給協力に関する協定」を締結しました。名取西店屋上駐車場を一時避難場所として使用します。新型コロナウイルス感染症により生活支援が必要な方には個人の状況にあった支援を行っています。避難所運営は会場の増設、職員の増員予定です。

色麻町 早坂利悦町長　12月2日　色麻町役場
みやぎ生協 小澤義春常務理事、及川しのぶ理事、メンバー4人

台風19号により河川が氾濫寸前となり現在も多くの護岸の修復工事が行われています。新たに防災ハザードマップを作成し全戸配布しました。また「新型コロナウイルス感染症に対応した避難のポイント」も作成し配布しました。生活困窮者へは生活安定再建支援金などにより支援しています。

加美町 猪股洋文町長　12月14日　加美町役場
みやぎ生協 大越健治専務理事、及川しのぶ理事、メンバー8人

台風19号の被害はありませんでしたが防災マップを見直しました。今後は防災訓練を行います。新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い対策室を設置し相談を受け付けています。避難所の増設については、町で所有している複数の宿泊施設を予定しています。

大郷町 田中学町長　12月14日　大郷町役場
みやぎ生協 小澤義春常務理事、渡邊弘美理事、メンバー2人

大郷町にお住いの住民からの声で初めて懇談会を開催しました。台風19号により家屋に被害があった方の災害公営住宅への移転も決まり、復旧工事もおおむね今年で終了予定です。新型コロナウイルス感染症に関する専用の相談窓口は設けていませんが全庁で対応しています。

丸森町 保科郷雄町長　12月23日　丸森町役場
みやぎ生協 大越健治専務理事、佐藤由紀理事、メンバー3人

台風19号における被害が甚大ということもあり6月に復旧･復興計画を作成しました。避難所については見直しを進めており、応急生活物資の供給などみやぎ生協と協定の締結を進めたいと思います。新型コロナウイルス感染症に関しては、今後相談が顕在化してくると思われます。

柴田町 滝口茂町長　1月15日　柴田町役場
みやぎ生協 大越健治専務理事、佐藤由紀理事、メンバー3人

台風19号により甚大な被害がありましたので、緊急性の高いところから復旧復興を進めています。新型コロナウイルス感染症に関する相談窓口は設置していませんが、仙南保健福祉事務所などと連携し対応しています。避難所運営についてはマニュアルを作成し会場を増やしました。

角田市 黒須貫市長　1月21日　角田市役所
みやぎ生協 池町江美子課長、佐藤由紀理事、メンバー3人

台風19号による被害が大きく現在防災減災構想を策定中です。防災減災の冊子を作成し全世帯に配布しました。新型コロナウイルス感染症に関する窓口は設置していませんが、社会福祉協議会と連携しています。コープフードバンクとの協定により、困っている方に食品を供給しました。

七ヶ宿町 小関幸一町長　1月27日　七ヶ宿町役場
みやぎ生協 大越健治専務理事、佐藤由紀理事、職員2人

台風19号による被害は大きくなかったので順調に復旧が進んでいます。新型コロナウイルス感染症に関しては、インフルエンザ予防接種費用を無料にするなど町独自の施策でも支援しています。避難所での物資の備蓄も完了し、今後は運営の訓練等を計画します。

南三陸町 佐藤仁町長　2月8日　南三陸町役場
みやぎ生協 小澤義春常務理事、小野幸恵理事、メンバー3人

東日本大震災の復旧･復興事業は一部を除きほぼ完了しました。2020年4月に「災害時における応急生活物資の供給協力に関する協定」を締結しました。新型コロナウイルス感染症による仕事の減少等の相談が数件ありました。避難所は運営マニュアルを作成し訓練を実施、課題も見えました。

女川町 須田善明町長　2月16日　女川町役場
みやぎ生協 大越健治専務理事、佐藤ひで子理事、メンバー4人

東日本大震災の復興事業は一部を除きほぼ完了しました。新型コロナウイルス感染症に関するアンケート調査の結果、解雇や減給された方は5%で、生活困窮に関する相談は増えています。避難所運営は段ボール会社と災害協定を結び間仕切りとして使用します。

七ヶ浜町 寺澤薫町長　2月22日　七ヶ浜町役場
みやぎ生協 小澤義春常務理事、渡邊弘美理事、メンバー2人

東日本大震災の復興事業は2020年度3月でほぼ完了します。新型コロナウイルス感染症に関する相談窓口は設置しませんでしたが、各部署で連携して相談の対応を行いました。避難所運営は新たにマニュアルを作成しました。

白石市 山田裕一市長　3月12日　白石市役所
みやぎ生協 小澤義春常務理事、佐藤由紀理事、メンバー2人

東日本大震災の復興事業は今年度終了します。台風19号の復旧は2023年度までかかる見通しです。新型コロナウイルス感染症に関しては、社会福祉協議会が窓口となり生活困窮の相談も受け付けています。避難所のマニュアルを作成し、学校の空き教室や特別教室を活用スペースとして考えています。

多賀城市 深谷晃祐市長　3月16日　多賀城市役所
みやぎ生協 大越健治専務理事、石垣八重美理事、メンバー4人

東日本大震災の復興事業は95%終了しています。課題は災害公営住宅の入居者の高齢化や地域とのコミュニティです。新型コロナウイルス感染症に対する支援や対応窓口の冊子を作成しました。避難所は高齢者や障がい者、外国人などのために宿泊施設を確保しました。感染者への誹謗中傷に対応した条例を制定しました。

〈福島県〉

伊達市 須田博行市長　10月23日　伊達市役所
コープふくしま 野中俊吉副理事長、齋藤恵理子理事、組合員4人

阿武隈川流域の洪水浸水想定区域が見直された時点で、伊達市防災マップを作成して全戸配布しています。阿武隈川最下流に位置するので遊水池や水田貯留、森林整備などの洪水対策を県や沿川自治体と協力して進めています。

白河市 鈴木和夫市長　11月25日　白河市役所
コープふくしま 宍戸義広執行役員、高田由喜理事、組合員2人

新型コロナウイルス感染症による生活支援相談は増えています。コープふくしまのお店で開催したフードドライブの活動など、生活に困難を抱えている方への支援活動を続けていくことについて話し合いました。

桑折町 高橋宣博町長　10月30日　桑折町役場
コープふくしま 野中俊吉副理事長、齋藤恵理子理事、組合員5人

新型コロナウイルス感染症対策として町独自の経済対策を行っています。「住み続けたい、住みたい町桑折」の実現のため健康・福祉・教育を中心に取り組み、人口減少抑制につなげています。相馬福島道路の開通により、人・物の流れが活発になることが予想され町が広く周知されることに期待します。

二本松市 三保恵一市長　12月4日　二本松市役所
コープふくしま 新田祥子理事、組合員1人

15分という短時間の懇談でしたが、コープふくしまの組合員活動やお店で取り組んだフードドライブなどの社会貢献活動について話し合いました。

〈文書回答〉

大崎市 伊藤康志市長

度重なる冠水被害があり、雨水対策や県による内水対策を進めています。ハザードマップの全戸配布と説明会を開催しています。新型コロナウイルス感染症に関する相談窓口を4月に開設し、生活に困窮している方や住居を失った方に支援を行っています。避難所は地区の集会所や学校の空き教室を利用します。

大衡村 萩原達雄村長

台風19号では家屋の浸水や農地の被害、土砂崩れ等がありました。「災害時における応急生活物資の供給協力に関する協定」を締結しているので、今後は生活用品の供給依頼を検討します。新型コロナウイルス感染症に関する窓口は開設していませんが、生活相談所で対応しています。避難所運営マニュアルを策定し、訓練を計画しています。

大和町 浅野元町長

台風19号による遊水池事業は国の事業ですが、支川の堤防かさ上げ工事を行っており、2022年度完了の見込みです。新型コロナウイルス感染症に対する避難所運営は学校の旧教室利用や防災用テントの準備等をしています。また避難所開設訓練を地元住民と一緒に実施しました。

利府町 熊谷大町長

東日本大震災の復興事業はソフト事業を除き2019年度に完了しました。台風19号では甚大な被害があり復旧工事を進めています。新型コロナウイルス感染症の相談窓口は開設していません。町独自の支援としてひとり親家庭に食糧詰め合わせボックスを配布しました。避難所運営はマニュアルを策定し訓練を実施しています。

石巻市 亀山紘市長

東日本大震災の復興事業は台風19号の影響により一部遅延しています。地盤沈下により排水が出来なくなっているため対策を行っています。新型コロナウイルス感染症の新たな相談窓口は開設していませんが、解雇や収入減による生活相談が増えていることから支援機関との連携を強化しています。避難所は運営マニュアルを改定しました。

大河原町 齋清志町長

台風19号発生以降、避難所に常備する備蓄を進めています。大河原中学校では中学生ボランティアを中心に訓練を実施しています。新型コロナウイルス感染症対策として、避難所は新たに3施設が受け入れ可能になりました。相談窓口は設置していませんが、対策本部を設置し、地域の相談機関と連携しています。

〈宮城県議会議員懇談会〉

仙台市青葉区　10月19日　みやぎ生協桜ヶ丘店

菅間進議員

みやぎ生協

石川宣子理事、齊藤秋花理事、佐藤淑子理事、反畑明実理事、メンバー2人

東日本大震災の復興は地域コミュニティの強化や地域活性化に向けた支援の継続が必要です。復興庁は2031年3月まで延長することが決まりました。新型コロナウイルス感染症に関する差別や誹謗中傷等でお困りの方に電話相談窓口「みやぎ新型コロナ人権相談ダイヤル」を設置しております。

遠田　1月20日　美里町駅東地域交流センター

佐々木功悦議員

みやぎ生協

及川しのぶ理事、メンバー8人

2019年度で県内21市町の災害公営住宅はすべて完成しました。新型コロナウイルス感染症に対する支援策は様々用意されていますが、必要な人に届いていないので、周知方法が課題となっています。

仙台市泉区　10月26日　みやぎ生協黒松店

小畑きみ子議員

みやぎ生協

齊藤秋花理事、反畑明実理事、信山澄重理事、メンバー8人

自然災害による河川の氾濫が多くなっているので、橋の補強工事など30年計画で改修工事が進んでいます。住民の理解を得ながら進めているため長期の計画になっています。新型コロナウイルス感染症に対応する避難所への必要物資については確保できています。

仙台市太白区　1月25日　カメイアリーナ仙台

石田一也議員、岸田清実議員、横山のぼる議員

みやぎ生協

藤本富江理事、吉原直美理事、メンバー26人

東日本大震災による水産業の被害は甚大で、現在もまだ戻っていない状況です。台風19号による太白区の笊川の氾濫はまだ復旧していませんが、ポンプ場設置の予算は盛り込みます。避難所増設に関しては各地域ごとに説明会を開きましたが、県内の状況を集約できていません。

大崎　1月18日　みやぎ生協古川南店

佐々木賢司議員、中島源陽議員

みやぎ生協

及川しのぶ理事、メンバー16人

東日本大震災の課題となっている子どもの不登校や引きこもりの支援のための委員会を立ち上げ、条例を提出するよう準備しています。新型コロナウイルス感染症に関する差別や偏見、誹謗中傷の根絶に関して決議しました。

仙台市宮城野区　1月25日　みやぎ生協幸町店

大内真理議員

みやぎ生協

石垣八重美理事、佐藤淑子理事、反畑明実理事、松木弥恵理事、メンバー12人

台風19号による床上浸水の補償に関する問題が上がっています。他県では独自の補償制度もあることから宮城県でも考える必要があります。国の方針により県内の保健所が14カ所から9カ所に減ります。新型コロナウイルス感染症により1年先送りになりましたが、これも考えていく必要があります。

加美　1月19日　加美やくらい文化センター

高橋啓議員

みやぎ生協

及川しのぶ理事、メンバー8人

東日本大震災の復旧工事に関しては、防潮堤の工事以外はほぼ終了しています。今後は心のケアが課題となっているので、「宮城県心のケア取組方針」を策定しました。コロナ禍による失業者は県内で1800人余りになっています(2020年末)。

仙台市若林区　1月27日　みやぎ生協南小泉店

福島かずえ議員、三浦ななみ議員、渡辺勝幸議員

みやぎ生協

松木弥恵理事 、メンバー9人

この10年で高齢独居老人は15%増え、65歳以上の世帯も30%増えました。台風19号で被災した丸森町の道路の修復は2%しか進んでいません。内水被害の支援を制度化したいと思います。みやぎ生協の感染者生活パックは大変ありがたいです。

〈仙台市議会議員懇談会〉

青葉区　10月19日　みやぎ生協桜ヶ丘店

郷古正太郎議員、佐藤わか子議員、すげの直子議員、ひぐちのりこ議員

みやぎ生協　石川宣子理事、齊藤秋花理事、佐藤淑子理事、反畑明実理事、メンバー25人

東日本大震災から10年、復興公営住宅家賃は減免の特例措置が終了します。据え置かれていた家賃が上がることに対し不安の声がとても多いです。解雇や雇止めによる失業者は増えています。非正規労働者や外国籍の人、ひとり親世帯への支援など、ワンストップの相談窓口(杜の都おしえてコール)を11月5日に設置しました。

泉区　10月26日　みやぎ生協黒松店

安孫子雅浩議員、石川建治議員、ふるくぼ和子議員、細野たかし議員

みやぎ生協　齊藤秋花理事、反畑明実理事、信山澄重理事 メンバー12人

台風19号による七北田川の浸水被害が大きかったので、現在も改修計画が進んでいます。休業等により経済的に困窮し、住居を喪失した方又は喪失するおそれのある方に、住居確保給付金を支給するとともに住居と就労の機会の確保の支援を行っています。

太白区　1月18日　カメイアリーナ仙台

小山勇朗議員、嵯峨サダ子議員、佐藤和子議員、鈴木広康議員、
高村直也議員、沼沢しんや議員

みやぎ生協　藤本富江理事、吉原直美理事、メンバー31人

復興公営住宅の住民の健康調査を宮城県が終了しますので、仙台市が継続します。2020年度版の仙台市ハザードマップが7月に公表されました。また防災タウンページの全戸配布を再開しようと動いています。

宮城野区　1月25日　みやぎ生協幸町店

佐々木真由美議員、高見のり子議員、辻隆一議員、山下純議員、
渡辺敬信議員

みやぎ生協　石垣八重美理事、佐藤淑子理事、反畑明実理事、松木弥恵理事、メンバー24人

復興公営住宅の住民のコミュニティ作りは苦慮しています。今後は東日本大震災の風化を防ぐ取り組みが必要です。失業者は8万人ですが、労働局・ハローワークに登録している人数なので、実際はもっと多いと思います。ホームレスは若い女性の姿が多くなっています。

若林区　1月27日　みやぎ生協南小泉店

猪又隆広議員、菊地崇良議員、佐藤正昭議員、庄司あかり議員、
菅原正和議員、鈴木すみえ議員

みやぎ生協　松木弥恵理事、メンバー12人

海岸帯に防潮堤の整備が進んでいます。内水害の査定基準がわかりにくいので、市はもっと支援すべきと考えます。地方創生臨時給付金が活用できていません。新型コロナウイルス感染症における仙台市避難所運営マニュアルを作成しました。

2020年度首長・議員懇談会のまとめ

1. 首長懇談会は宮城で22自治体で開催しました。新型コロナウイルス感染拡大等により店舗のあるすべての自治体との懇談はできませんでしたが、6自治体(大崎市、利府町、大衡村、石巻市、大和町、大河原町)から文書で回答がありました。また、地域メンバー（組合員）からの要望で初めて大郷町と懇談することが出来ました。
2. 今年度から福島でも開催し、店舗のある4自治体で懇談しました。フードドライブなどの社会貢献活動や組合員活動を知っていただく機会となりました。
3. 議員懇談会は、宮城県議が8選挙区13人、仙台市議が5選挙区25人と懇談しました。コロナ禍により参加者が限られる中、仙台市議の参加は昨年度より大幅に増えました。
4. 懇談を機に3月25日に東松島市と、12月24日に栗原市と地域包括連携協定を締結しました。宮城県内の地域包括連携協定の締結は11自治体になりました。また、丸森町と締結に向け準備を進めています。
5. 南三陸町、名取市と「災害時における応急生活物資の供給協力に関する協定」を締結しました。涌谷町と締結に向け準備を進めています。
6. 昨年度の懇談会で提案された協働の取り組みとして、利府町ではせいきょう便を運行することになりました。

みやぎ生協のめざすもの

わたしたちは、協同の力で、人間らしいくらしを創造し、平和で持続可能な社会を実現します。

COOP みやぎ生活協同組合・コープふくしま

（2021年5月）